

概 要 版

第 3 次



木更津市環境基本計画

令和8年度（2026年度）～令和14年度（2032年度）



ゼロカーボンで未来を描く、地域循環共生のまち
～ウェルビーイングが実感できる地域の実現～



○計画の特徴

気候変動や生物多様性の損失などの環境課題に向き合い、持続可能で安心して暮らせるまちを目指す計画です。

環境の保全だけでなく、心身の健康や地域のつながりといった幸せの実感も重視し、市民・市民団体、事業者、市が協力しながら進めていきます。

令和8年3月

計画策定の目的と背景

本市では、平成 15 年（2003 年）に木更津市環境基本計画、平成 28 年（2016 年）に第 2 次木更津市環境基本計画を策定し、環境の保全と創造に向けた取組を進めてきました。

第 2 次木更津市環境基本計画から約 10 年が経過し、一定の環境指標の改善が確認されるなど成果が見られる一方、国の第六次環境基本計画でも示されるように、「気候変動」、「生物多様性の損失」、「汚染」といった地球規模の課題は一層深刻化しています。

また、社会の変化も環境に影響を及ぼしています。暮らし方や働き方の変化により、エネルギー消費や生活ごみの排出など、身近な環境負荷に影響が生じています。

こうした状況に対応するため、社会経済情勢や環境行政の動向を踏まえた見直しを行い、新たに第 3 次木更津市環境基本計画を策定します。

計画の基本的事項

計画の位置づけ

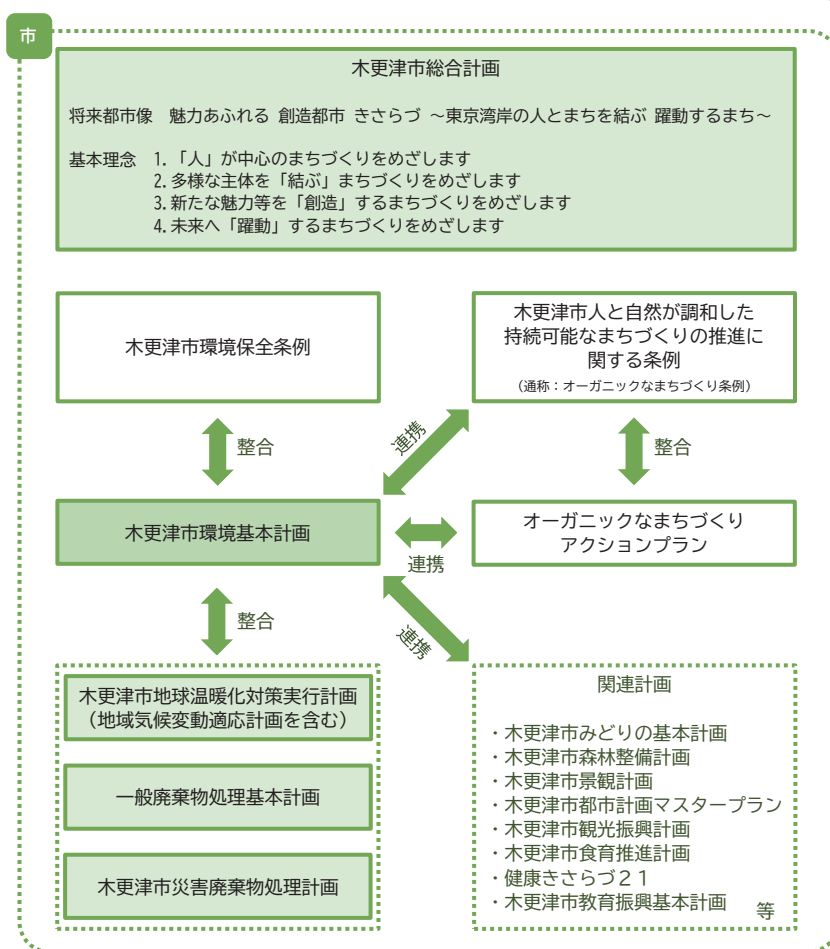
本計画は、本市の上位計画である木更津市総合計画に示す基本理念や将来像を環境の視点から実現していくための計画です。

計画の期間

令和 8 年度（2026 年度）から
令和 14 年度（2032 年度）までの 7 年間

目指す環境像

ゼロカーボンで未来を描く、地域循環共生のまち
～ウェルビーイングが実感できる地域の実現～



対象とする分野

地球環境

自然環境

資源循環

生活環境

環境学習・協働

の 5 分野を対象とします。



近年、地球の気温は上がり続けており、私たちのくらしや自然への影響が心配されています。原因は、二酸化炭素などの温室効果ガスが増えていることです。

これを防ぐためには、毎日の生活や事業活動を、環境にやさしいものへ変えていく必要があります。

本市では、再生可能エネルギーの活用や啓発活動を進め、市民・事業者とともに、脱炭素社会の実現と持続可能な地域づくりを目指します。



脱炭素と、地域の未来を
いっしょにつくりましょう！

市の取組

- カーボンクレジットの活用による地域産業の創出を検討
- 環境負荷低減の取組としてサステナブルなイベントを運営
- 防災機能の強化に向けて再生可能エネルギーや蓄電池等の自立・分散エネルギーの導入を促進
- 公用車へ電動車を導入
- 公共施設等への再生可能エネルギー、省エネルギー設備の導入を推進
- 地元のごみ発電の電気を公共施設で使用

など

成果指標・取組指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2032年度)
市域全体の温室効果ガス排出量	1,046 千t-CO ₂ (2022年度実績)	549 千t-CO ₂ 以下 (2030年度実績)
住宅用再エネ・省エネ設備導入	165 件	195 件
本市の業務における温室効果ガス排出量	8,261 t-CO ₂	3,431 t-CO ₂

木や草があると、二酸化炭素を減らして、空気も涼しくしてくれるんだよ



再生可能エネルギーを使うことが、脱炭素への第一歩なんだ



市民・市民団体の取組

取組例	
<input type="checkbox"/>	省エネルギー型機器や再生可能エネルギーの導入に努めましょう。 ❏ 冷蔵庫やエアコンを買い替えるときは省エネ型を選び、屋根の太陽光発電も選択肢に。
<input type="checkbox"/>	生活の中で緑を増やすなど、地球温暖化防止に自主的、積極的に取り組みましょう。 ❏ ベランダにプランターを置く、庭木を増やすなど、小さな緑づくりがまちの涼しさにもつながります。
<input type="checkbox"/>	徒歩や自転車、公共交通機関を利用する生活を心がけましょう。
<input type="checkbox"/>	エコドライブを実施しましょう。
<input type="checkbox"/>	自動車を購入するときは環境に配慮した自動車を検討しましょう。
<input type="checkbox"/>	生活習慣を見直し、節電や節水、ごみの減量を心がけ、温室効果ガスの排出量削減に努めましょう。 ❏ 使わない部屋の電気を消す、詰め替え商品を選ぶ、食品ロスを減らすなど、毎日の小さな工夫が効果的です。

事業者の取組

取組例	
<input type="checkbox"/>	温室効果ガスの排出量の把握、削減に努めましょう。 ❏ 電気・ガス・燃料の使用量を定期的に見える化し、無駄を洗い出すことが第一歩です。
<input type="checkbox"/>	エコドライブを実施しましょう。 自動車を購入するときは環境に配慮した自動車を検討しましょう。
<input type="checkbox"/>	営業車や送迎車をハイブリッド車・EVに切り替えることで、企業全体の排出量を大きく減らせます。
<input type="checkbox"/>	病院や介護施設などの公共的施設については、再生可能エネルギー等の導入を積極的に進め、災害時の自助に努めましょう。 ❏ 太陽光発電や蓄電池の導入は、平常時の省エネだけでなく、停電時の電力確保にも役立ちます。
<input type="checkbox"/>	省エネルギー型機器や再生可能エネルギーの導入に努めましょう。
<input type="checkbox"/>	緑のある職場づくりで、地球温暖化防止に貢献しましょう。

自然環境

基本目標2. 森・里・川・海と
ともに生きるまちを目指します



近年、自然環境の悪化や生きものの減少が問題となっており、自然を守り、回復させていくことが大切になっています。

本市には、干潟や川、田畑、森林など、多くの生きものがくらせる豊かな自然があります。

これらの自然を将来に引き継ぐため、環境学習や体験活動を通して理解を深め、市民・団体・事業者と協力しながら、自然を守り育てる取組を進めていきます。

大切な自然だから、
一緒に守っていきましょう



市の取組

- 盤洲干潟やいっせんぼくなど生物多様性の豊かな地域の生息環境の保全
 - 「自然共生サイト」の認定及び「回復・再生」に向けた検討
 - 動植物の保全、生物多様性の確保の協力に向けた普及啓発
 - 外来生物の適正な駆除・管理、在来種の保護と生態系の維持
 - 出前講座や観察会などの学習機会の提供
- など

成果指標・取組指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2032年度)
自然環境が保全されることが期待できる地域(面積)	23.14ha	66ha
生物多様性に関する講座実施回数	0回	5回

自然を大切にしながら、
体を動かすのって
気持ちいいね



環境を守る活動に
できることから
協力しています！



市民・市民団体の取組

取組例	
<input type="checkbox"/>	「きさらづ地域循環共生圏」の取組に関心を持ち、参加しましょう。
<input checked="" type="checkbox"/>	イベントやワークショップに参加するだけでも、地域の自然を守る仲間づくりにつながります。
<input type="checkbox"/>	森・里・川・海の生物の生息環境の保全活動に参加しましょう。
<input type="checkbox"/>	動植物をむやみに捕まえたり、持ち帰ったりしないようにしましょう。
<input checked="" type="checkbox"/>	散歩中に見つけた生きものは、その場でそっと見守ることが自然保護の第一歩です。
<input type="checkbox"/>	動植物は正しく飼育・栽培し、むやみに遺棄しないようにしましょう。
<input checked="" type="checkbox"/>	飼えなくなった生きものを自然に放すと、生態系に大きな影響を与えることがあります。
<input type="checkbox"/>	外来生物の持ち込みなど、地域の生態系を乱す行為はやめましょう。

事業者の取組

取組例	
<input type="checkbox"/>	「きさらづ地域循環共生圏」の取組に関心を持ち、参加しましょう。
<input type="checkbox"/>	砂浜や干潟、河川など生物の生息環境の保全活動に参加しましょう。
<input checked="" type="checkbox"/>	社員ボランティアの参加や協賛など、企業としての支援が地域の自然保全を大きく後押しします。
<input type="checkbox"/>	大規模事業の実施には、自然環境への影響について十分に調査しましょう。
<input checked="" type="checkbox"/>	事前の環境調査や専門家の意見を取り入れることで、リスクを早期に把握できます。
<input type="checkbox"/>	大規模事業による自然環境への影響を最小限になるように努めましょう。
<input type="checkbox"/>	野生生物の生息環境の保全や保護活動には積極的に参加・支援しましょう。
<input checked="" type="checkbox"/>	保全団体への協力や企業敷地内の緑地管理など、事業者ならではの支援が生態系保全につながります。

資源循環

基本目標3.

きれいなまち、つなぐ資源
みんなで作る資源循環のまちを目指します



大量につくって捨てる社会から、資源を大切にくり返し使う社会への転換が求められています。

本市では、ごみの量やリサイクルの進み具合に課題があるため、ごみの減量やリサイクルの充実に取り組みます。

あわせて、地域の資源を活用した再利用や環境美化を進め、資源が循環するまちづくりを目指します。



市の取組

- ごみの分別の周知による適正処理の推進
- 4R (Refuse: ごみを発生させない、Reduce: ごみを減らす、Reuse: 再利用する、Recycle: 資源として再活用する)の推進
- 堆肥化事業や家庭廃食油の拠点回収、資源ごみ集団回収への助成など、資源循環の促進
- 事業系廃棄物の排出状況の把握及び資源化の推進
- ペットボトルの水平リサイクルによる資源化の推進
- 不法投棄監視員のパトロールや監視カメラの設置による監視の強化
- 市民・市民団体、事業者の清掃活動などへの協力の促進など

成果指標・取組指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2032年度)
1人1日あたりのごみ排出量	1,057g	894g
リサイクル率	21.33%	35%
不法投棄の通報件数	174 件	140 件

ごみを分けるのって、資源を大切にする第一歩なんだよ



地域と協力して、資源がめぐる仕組みをつくっています



市民・市民団体の取組

- 取組例**
- ごみの減量化や分別・リサイクルに努めましょう。
 - 容器包装の分別を丁寧に行うだけで、資源として生まれ変わる量が大きく増えます。
 - ごみの分別を徹底し、資源ごみの集団回収や拠点回収に積極的に協力しましょう。
 - 食品ロスを減らしましょう。
 - 買いすぎを控える、食材を使い切る、賞味期限の近い商品を選ぶなど、身近にできる取り組みです。
 - フードドライブへの提供や不要品のリユースなど、家庭内でできる資源循環の取組を日常生活の中で実践しましょう。
 - 食べきれない食品や使わなくなった物は、捨てるに「必要な人へ渡す」選択をしてみましょう。
 - エコバックやマイボトルを利用しましょう。
 - リサイクルフェアや環境学習イベントに参加し、資源循環の意義を学びましょう。
 - 親子で参加できるイベントもあり、楽しみながら資源の大切さを知るきっかけになります。
 - 市民による監視、連絡体制をつくり、地域ぐるみで監視、通報に取り組みましょう。
 - 気づいたことを地域で共有し、早めに連絡することで、不法投棄の発生を抑えられます。
 - 市内一斉清掃やボランティア清掃等の「まちをきれいにする運動」に参加しましょう。

事業者の取組

- 取組例**
- ごみの減量化や分別・リサイクルに努めましょう。
 - ごみ問題への理解を深める社内研修や地域貢献活動に努めましょう。
 - 社員向けの勉強会や地域清掃活動への参加は、企業の環境意識を高める良い機会になります。
 - 廃棄物の分別・減量化を徹底し、事業系廃棄物の資源化に取り組みましょう。
 - オフィスや工場での分別ルールを明確にし、紙・金属・プラスチックなどの資源化を進めることで処理コスト削減にもつながります。
 - 資源循環に配慮した製品設計・サービス提供を推進しましょう。
 - 再生材の活用や長く使える設計、簡易包装など、製品づくりの段階から環境配慮を組み込むことが企業の信頼性を高めます。
 - 地域の資源循環活動(集団回収、堆肥化事業など)に協力し、地域との連携を深めましょう。
 - 環境配慮型の事業運営を通じて、地域の環境保全に貢献しましょう。
 - 省エネ設備の導入やペーパーレス化、環境方針の社内共有など、日常の業務改善が地域全体の環境負荷低減につながります。
 - 事業所及び周辺環境美化のため、清掃活動を積極的に行いましょう。
 - 事業活動に伴う廃棄物の適正処理を徹底しましょう。



水や空気、音など、私たちの健康や生活に身近な環境を守ることはとても大切です。

本市の環境はおおむね良好ですが、川の汚れやごみ、騒音やにおいなどの課題があります。

そのため、環境の調査や対策を続けるとともに、自然や景観を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めます。



市の取組

- 水環境、大気環境等の監視・観測
- 公共下水道、合併処理浄化槽などの効率的、効果的な整備
- 事業所への排出抑制の助言・指導・啓発
- 県や関係機関との協力による、航空機騒音の低減に向けた国への申入れ
- 市民生活に影響を与える可能性のある化学物質の監視、情報提供
- マイクロプラスチックの発生抑制と適正管理の普及啓発と海洋ごみ対策を推進
- ペットの糞の適正処理や飼育方法のルールやマナーの普及啓発
- 農業従事者などへの支援、学校給食での地元食材の活用や地産地消推進店の拡大
- 市民や事業者と協働して景観まちづくりへの取組及び支援など

マイボトルを使うと、資源の節約になるよ



成果指標・取組指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2032年度)
生活排水処理率	84.7%	92.4%
地産地消推進店の拡大	38 店	90 店
公園緑地の供用面積	133.96ha	139ha

周りのくらしに配慮しながら、事業活動を行っています



市民・市民団体の取組

- 取組例**
- 環境にやさしい洗剤の使用や適切な使用に努めましょう。
必要量を守り、詰め替え用を選ぶことで、川や海への負荷を減らせます。
 - 細かい目の洗濯ネットを使い、合成繊維くずの流出を防ぎましょう。
洗濯ネットはマイクロプラスチックの流出を減らし、川や海の環境保全に役立ちます。
 - 自動車を購入するときは環境に配慮した自動車を検討しましょう。
 - 家庭でのテレビやステレオ、楽器の音量、ペットの鳴き声などの生活騒音を出さないように心がけましょう。
窓を閉める、夜間の音量に気をつけるなど、ちょっとした配慮がご近所との快適な暮らしにつながります。
 - 必要がないプラスチック製品の使用は避けましょう。
 - 屋外での焼却をしないようにしましょう。
(原則として法律で禁止されていますが、一部例外として認められる場合があります。)
 - 木更津市内で作られた農林水産物を購入しましょう。
地元産を選ぶことで、地域の農林水産業を応援し、身近な自然環境の維持にも貢献できます。
 - 良好な自然景観の源になる森林、農地の保全に協力しましょう。

事業者の取組

- 取組例**
- 浄化槽をはじめとする排水処理施設の適正な維持管理をしましょう。
定期点検や清掃を確実に行うことで、水質汚濁の防止と設備の長寿命化が図れます。
 - 事業所などからのばい煙・粉じんの発生抑制に努めましょう。
 - 事業所内の公害防止体制を構築しましょう。
担当者の配置やマニュアル整備など、体制づくりが法令遵守と環境リスクの低減につながります。
 - 近隣住民の生活時間帯に配慮し、騒音・振動の基準を守りましょう。
 - プラスチック製のスプーンやカップのフタの提供を控えましょう。
必要な場合のみ提供する仕組みを導入すると、使い捨てプラスチックの削減に大きく貢献できます。
 - 悪臭の発生しやすい業種では積極的に悪臭対策に取り組ましましょう。
 - 農地の適正管理により、農地の持つ公益的機能の維持に努めましょう。
雑草管理や排水対策を行うことで、景観保全や防災機能の維持にも貢献できます。
 - 敷地内の緑化を行うなどして、自然環境を生かした都市景観の保全、創出に努めましょう。

環境を守り、未来へつなぐためには、一人ひとりが環境について知り、行動することが大切です。

本市では、地域の自然を活かし、市民や団体、事業者と協力して、環境学習や体験活動を進めています。

今後は、環境に関する情報を分かりやすく伝えるとともに、自然とふれあう機会を増やし、市民が参加しやすい環境づくりを進めていきます。

協働による環境保全の輪をさらに広げていきます



市の取組

- 市民・市民団体、事業者、市が一体となった環境美化活動の実施
- 市民が自然と親しむ場所や機会の提供
- 市民の環境保全活動の参加促進に繋がるような分かりやすい活動情報の提供
- ボランティア清掃袋を配布
- 環境保全活動を実践する人たちの相互交流を図るため、情報提供や人材の共有化、市民活動の活性化などを促進
- 出前講座の開催等による環境学習の機会の提供

など

成果指標・取組指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2032年度)
市民・市民団体・事業者との協働事業数	15	22
環境活動への参加する市民の割合	12%	20%
イベントへの出展・出前講座の開催数	3回	5回

一緒にやると、
なんだか楽しいね



学び合いながら、
環境への取り組みを
広げています



市民・市民団体の取組

- 取組例**
- 環境情報の収集・交換を積極的に行いましょう。
 - 自然観察会や体験学習などに積極的に参加しましょう。
 - 自然に触れる体験は、環境を大切にすることを育てるきっかけになります。
 - 緑化への理解と実践を深め、公園などの維持管理活動に積極的に参加しましょう。
 - 花壇づくりや草刈りなど、少しの参加でも地域の緑を守る力になります。
 - 市民団体や市などが行う環境保全活動に参加しましょう。
 - 家庭内で環境問題について話し合う機会をつくりましょう。
 - また、子どもには環境の大切さを教えましょう。
 - 日常の会話が、次の世代の環境意識を育てる大切な一歩です。
 - 地域の清掃活動に参加しましょう。
 - ごみ拾いはすぐにできる環境保全。まちの美しさを守る実感が得られます。
 - 環境イベントやワークショップを企画・開催しましょう。
 - 学びの場をつくることで、地域全体の環境意識が高まります。
 - SNSで環境活動を発信しましょう。

事業者の取組

- 取組例**
- 環境情報の収集・交換を積極的に行いましょう。
 - 最新の環境対策や制度を把握することで、事業活動の改善やリスク低減につながります。
 - 市民団体や市などが行う環境保全活動に参加しましょう。
 - 緑化への理解と実践を深め、公園などの維持管理活動に積極的に参加しましょう。
 - 植栽活動や清掃活動は、地域の景観向上と企業の社会貢献の両方に役立ちます。
 - 地域の環境活動への協賛・参加をしましょう。
 - 従業員向けの環境教育を行いましょう。
 - 省エネ行動や廃棄物削減など、日常業務でできる取り組みを学ぶ機会が効果的です。
 - 環境保全に関するイベントや講座の開催を検討しましょう。
 - 企業主催の講座やワークショップは、地域の環境意識向上に貢献し、企業価値の向上にもつながります。

ウェルビーイング向上につなげる7つの取組

～ ウェルビーイング (Well-being) とは ～

ウェルビーイングとは、「心も体も、社会的にも満たされた状態」のことです。

そのあり方は人によって異なり、健康で安心して暮らせて、毎日を心豊かに過ごせることを意味します。

ただし、「これが正解」という定義はなく、一人ひとりの価値観を大切にすることが重要です。

7つの取組が目指すもの

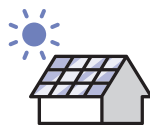
本計画は、環境の取組を通して、生活の質や幸福度が高まる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。

7つの取組を、数値や市民の声をもとに進めながら、「このまちで暮らしていてよかった」と感じられる環境づくりを進めていきます。



取組 1 エコ住宅の普及による快適性と経済的安定の両立

断熱性や省エネ性能を備えたエコ住宅の普及により、気候変動対策と、快適で経済的な暮らしを支えます。



取組 2 公共施設への再エネ導入による安心感と未来への希望

公共施設に再生可能エネルギーを導入し、脱炭素と災害への備えの両立を図ります。



取組 3 自然環境の保全による心身の健康の向上

生物多様性を守りながら、日常の中で自然とふれあい、心も体も健やかに暮らせる環境を育てます。



取組 4 ごみの減量・分別による自律性と満足感の向上

ごみの減量や分別をきっかけに、環境を考え、誇りや満足感をもてる暮らしにつなげます。



取組 5 リユース・シェアリング事業による意思決定の自由と生活の充実

モノを大切に使い、ゆずり合いやシェアを進めることで、暮らしの選択肢と地域の豊かさを広げます。



取組 6 環境教育・市民参加を通じた社会的つながりの醸成

ごみ拾いや清掃活動などを通して、一人ひとりの参加を広げ、地域のつながりを育てます。



取組 7 環境測定と結果の公開による安心感の向上

空気や水などの環境を定期的に測定し、結果を伝えることで、安心して暮らせるまちにつなげます。



第3次木更津市環境基本計画 概要版

令和8年(2026年)3月

発行：木更津市 環境部 環境政策課
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜3-1
TEL：0438-36-1442



きさポン